

輸血レビュー委員会

1. 目標

輸血療法に伴う輸血業務全般の安全性と効率性を確保する。

2. 方針

院内で実施されている輸血の使用状況と、その内容について検討する。

3. 委員構成

委員長：不動寺純明

委員：小久保武、末永孝生、武士昭彦、金子教宏、加藤全功、草薙 洋、望月隆弘、佐々木忠徳(薬剤部)、高梨つや子(看護部)、野村俊郎、松本繁子(事務局)

4. 活動内容

1)血液製剤の使用に関しては、各医師にその使用が任されており、各診療科における血液製剤の適正化を求めるためには、各輸血症例に関する review を行う必要がある。当院においてはその使用量が多く、全体を把握することが困難なために、この件に関しては今後の課題とした。

2)日赤からの遡及調査に関し使用した患者に対して情報の提供およびフォローアップを行う。

3)「輸血医療の安全性確保のための総合対策」として当院で輸血を行ったすべての患者さまに対して輸血後感染症マーカー検査を実施することとした。

早急に電子カルテオーダ画面にセット項目を作成および輸血管理システムの構築を決定した。

4)超緊急時、災害時等の O 型赤血球製剤使用の当院規定を作成した。

5)輸血副作用報告書の作成

すべての輸血については使用状況が違うため、看護部および輸血室で再度検討し早期実施を行う。輸血管理システムで運用を検討。

文責：不動寺純明